

福岡県労連

KEN ROREN

ZENROREN

2021
3月号
No.171

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅前
1-9-8 ケイ・アイビル2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822
編集発行 福岡県労働組合総連合
福岡県労連 検索



[定価]
1部10円

ホームページ 単産・単組の専用ページパスワード：sankanshion (4/1～4/30)



福岡市議会



福岡県

21春闘

2・19地域総行動

福岡県春闘共闘は4団体 福岡地区春闘共闘は福岡市議会要請を行う

福岡県春闘共闘連絡会議では2月19日(金)に地域総行動を行いました。コロナ禍、緊急事態宣言が出された中の行動となったため、福岡県中小企業家同友会とはオンラインで、福岡県庁、福岡県市長会、福岡県町村会とは人数制限の中要請を行いました。また、行動終了後の総決起集会は、屋外での集会から屋内で代表参加による報告集会としました。

「最低賃金の大幅引き上げ実現」「公契約条例制定」「医療従事者等の支援」を要請

「最低賃金大幅引き上げ」では、福岡県議会で採択された意見書を紹介します、合わせて中小企業支援を実施し1500円の最低賃金を実現すれば、2000億円の経済効果が生まれることを強調しました。

中小企業支援と合わせて最賃引き上げが必須との認識は、一定の共有を図ることが出来ました。また、福岡県との懇談では、公契約条例を実現した他、町村会としても地域住民にとつて重要な問題であり、昨年から多方面にわたる要望を国へ行っていることと出されました。

福岡市議会での最低賃金大幅引き上げ意見書採択を求め要請

福岡地区春闘共闘は、福岡市議会に對して「最低賃金大幅引き上げ実現」の意見書採択を全会派に要請を行いました。各会派からは、「意見書採択は必要であり要求実現に向け全力で闘う」「集会アピール」を採択

地域総行動後に、行った報告集会では、福岡生公連の行動報告を受け、国労、民放労連

県が「理念条例にとどまっていることは課題ではないか」との認識を県担当者から示し、そのためにもまず、福岡県の公契約現場賃金実態調査の要請を行いました。医療支援では、市長会、町村会としても地域住民にとつて重要な問題であり、昨年から多方面にわたる要望を国へ行っていることと出されました。

KBC労組、郵政ユニオン、自治労連から春闘の経過報告と今後の闘いに向けた決意表明を受けました。

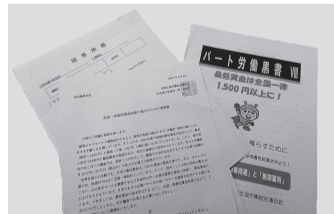
昨年20春闘ではコロナ禍で運動が窮屈になった経験を踏まえ、今年の21春闘はこの「2・19地域総行動」を皮切りに仲間の要求実現のため全力で闘うことを決意しました。

エフコープ労組 2月地域総行動のとりくみ

地元国会議員へ要請行動



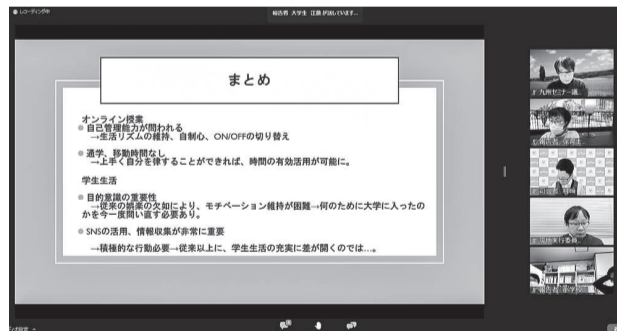
エフコープ労組は、生協労連から2月地域総行動で大きな動きをつくろうとの提起を受けて、地元国会議員への要請行動にとりくみました。具体的には生協労連が準備した「全国一律最低賃金制度の実現を求める要請について」の文書を議員の地元事務所に郵送し、請願署名の紹介議員になっていただくことと「全国一律最低賃金制度の確立について」懇談を行うことをお願いの電話入れをおこないました。通常の中央行動では議員会館の議員事務所を直接訪問していましたが、今回は地域で行動しようという提起がありこのようなとりくみとなりました。生協労連加盟の各単組がすべての地元国会議員との懇談と要請のとりくみをおこない、最賃署名の紹介議員100人の獲得をめざしました。残念ながら通常国会開会中ということもあり、直近での懇談のお約束はいただけませんでしたが、福岡県内の国会議員数名から紹介議員になっていただく確約もいただけました。なお、このとりくみには福岡県労連事務局にもご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。



九州セミナー第3回事前学習会

孤独、ストレス

…コロナ禍が教育にもたらすもの



九セミ事前学習会 大学生生活

コロナ禍のため「人間らしく働くための九州セミナーin北九州」は一年延期となりましたが、現地実行委員会の取り組みは意欲的に続

いています。「COVID19における働く人びとの実態と対策」と題した事前学習会。第3回となる今回は教育の現場から学生・教員の立場でコロナ禍の影響が語られました。

大学生は在宅学習による孤独感や学習実感のなさを訴え、学生生活を充実させるには強い自律心や目的意識、積極的な情報収集が必要だと話しました。教員・保育士の立場からは突然の休校要請による混乱、感染予防の負担やマスクで互いの顔が見えず活発に過ごせない児童たちのストレスといったこれまでになかった問題が報告されました。

これまで大きく変わってしまった環境下でそれでもより充実した学びを受ける、また提供するためのそれぞれの取り組みが見えた学習会となりました。

3・1ピキニデー集会

条約批准する政府を

「2021年3・1ピキニデー日本原水協全国集会」が2月28日に、「被災67年2021年3・1ピキニデー集会」が3月1日にそれぞれオンラインで開催されました。今年の3・1ピキニデー集会は、1月22日に発行した核兵器禁止条約を力に、核兵器のない世界の実現を目指して「新署名」の取り組みを進め、米国の核に依存し核抑止論に固執する日本政府に核兵器禁止条約への参加を求め、秋に予定される総選挙で条約を批准する政府を作る決意を固めあいました。





年金一揆集会後にデモ行進をする参加者

不当判決

年金引き下げ違憲訴訟 福岡高裁第1回控訴審

年金制度に対する信頼の低下は認める

年金者組合福岡県本部 木原 克彦

訴え全く反映されず

年金引き下げ違憲訴訟は、福岡地裁で5年間18回の口頭弁論を経て、昨年7月31日国の主張をそのまま受け入れ、私たちの訴えを棄却する不当な判決が出されました。私たちは、福岡地裁の口頭陳述で23人の原

告が高齢者の生活実態を切々と訴え、現行年金制度の不備と年金減額措置の不当性を明らかにしてきましたが、地裁判決では全く反映されませんでした。また、社会保障問題の専門家の学者や福岡県労働や現役労働者のみなさんも法廷で年金制度の不信や不安について陳述にいただきました。それでも地裁判決は、国民年金保険料の納入率が下がり続けていることは、制度に対する信頼の低下がうかがえると言っています。

私たちは、地裁の不当判決に対し福岡高裁に控訴し、2月10日に第1回の控訴審が開かれ、コロナ禍のもとで傍聴も大きく制限されましたが、法廷に入れない傍聴者が参加にいたりました。

裁判長は、控訴審で国の代理人に対し「平成16年改正法」から「平成24年改正法」に至る国の具体的主張について提出を求め、第2回の控訴審を4月28日14時30分に行うことになりました。

映画「時の行路」上映会のご案内

4月16日(金)ウェルとばた 中ホール
上映時間①11:00～ ②14:00～

4月17日(土)福岡市立中央市民センターホール
上映時間①11:00～ ②14:00～



鑑賞料金: 前売1,200円 当日1,500円

※制作協力券・賛同券を使用できます

主催: 「時の行路」上映推進会議

事務局: 九州シネマアルチ092-712-5297

九州共同映画社092-741-7112

75歳以上医療保険料 83,000円以上の見直しを！「窓口2割負担」導入撤回を！

～福岡県後期高齢者医療広域連合議会を傍聴して～

年金者組合福岡県本部 大嶋 久代



後期高齢者医療広域連合議会前にスタンディングでアピール

新型コロナウイルスが国民の命と暮らしを直撃している2月5日。菅政権は、75歳以上の医療費窓口負担を年金を含む年取200万円以上の人から、1割から2割に引き上げる法案を閣

議決定。今国会で成立させ、来年後半からの実施を目指しています。対象は全国で約370万人、福岡は約13万人です。国に足元をすくわれた思いで広域連合議会傍聴に参加しました。

国に撤回を求め、請願書が年金者組合県本部他4団体から提出され、賛成討論に立った中山郁美市議(共産)が、「経済的理由で医療に関われない方をさらに増やすことは絶対あつてはならない。今こそ『国民皆保険』を実現すべき」と訴えましたが、34人中32人の反対

で否決されました。山田ゆみこ市議(立憲民主)も「皆さんの声を国会に届けたい」と賛成しました。行政は、あくまでも国に従うとし、「受診抑制」で医療費が大幅に減少しているにもかかわらず「保険料割合は

公平であり見直しの時期ではない」としました。まさに「年寄りには死ね」というのか！が現実になっています。秋の総選挙で市民と野党の連合政権に転換しなければ、若者の未来もないと強く思いました。

わくわく講座

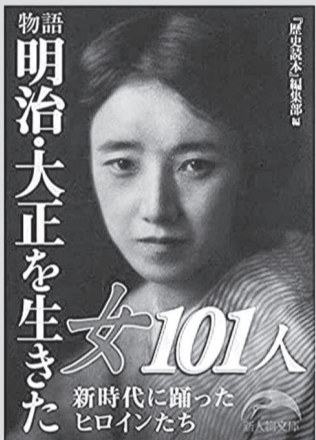
「わくわく講座」スクーリングを2月27日(土)に開催しました。今回は4章「賃金上げたい健康で働きたい-賃金と社会保障の関係」5章「労働者政党と労働組合が社会を変える-会社中心社会、構造改革、新福祉国家-」を学びました。私たち労働組合が「新自由主義社会」から「新福祉国家」への転換を求められていることを共有しました。



この本おすすめ

「明治・大正を生き続けた女101人」新時代に踊ったヒロインたち

KADOKAWA 「歴史読本」編集部編



九州ブロック女性部交流会では、後半生は弱者に寄り添い平和活動に奔走した愛の歌人「柳原白蓮」が暮らした伊藤伝右衛門郎を見学

森喜朗氏(元JOC会長)の女性蔑視の発言で物議をかもした先月、改めて本棚からこの本を出して読み返した。3年前

した。

今の福岡市今宿出身の伊藤野枝は、女中・女郎・女工の開放を訴えて活動。理想の社会のため行動し

ていた彼女は関東大震災直後に夫で思想家の大杉栄とともに、その思想が政府に害をなすと

して憲兵隊に虐殺された。それぞれの信念をもって生き抜いた101人の女性たちが掲載されている。コロナ禍で非正規労働者、特に女性の雇用が悪化し自殺者も増えている。その根幹は「人権問題だ！あと40年、真の個人尊重実現のために100歳まで取り組んでいけたら最高の人生になると思う。」

小川 マリ子

(真実労働事務局長)

編集後記

東日本大震災から10年。東日本大震災以降も広島土砂災害や御嶽山噴火、熊本・大分の地震、九州北部豪雨等々災害つづきの10年でした。この10年だけではなく、これまでもそうでした。これからもしっかりとそうでしょう。私たちの運動は、ただ自分の日々の暮らしを楽しむためではなく、私たちの社会全体の生活環境を守り、より良くすることで、何かがあっても生きていくことへの安心を培っていく、そんな取り組みだと信じています。(げ)